



渺々万里



新学期に当たって (お願い)

北海道静内高等学校長 加 澤 雅 裕

4月に胆振管内の厚真高校より着任しました。春休みにもかかわらず、教室で熱心に勉強している生徒、部活動に熱心に励んでいる生徒、新年度の準備作業や会議で忙しそうにしている教職員の姿に触れるたびに、本校の長い伝統の重さを感じるとともに、教育活動の一層の充実に向けて取り組んでいかなければならないという思いを新たにしています。

前期始業式と入学式の際に、「自他の生命の尊重」についてお話させていただきました。一人一人、この世に何らかの意味を持って生を受けています。ぞんざいに扱われてよい生命などありません。自分の現在や未来の充実した生活を求めて生きてほしいと思います。そのためには、自分自身をしっかり見つめて理解した上で、将来の夢や目標を持つことが役に立つかもしれません。一つの視点ではありますが、静高生である現在の自分とどのように向き合っていくでしょうか。

また、自分の存在を大切にすると同様に、自分の周囲の一人一人をかけがえのない存在と認め、相手の気持ちを思いやる寛容性も身に付けてほしいと思います。そのためには、人それぞれ様々な価値観があることを前提として、相手の気持ちを受容したり、相手に働きかけていくための「想像力」を高めていくことも大事な力の一つかも知れません。

今年一年、静高生として、授業や特別活動、部活動などいろいろな場面で、自他を高め合う力を周囲の仲間とともに身に付けてくれることを願っています。



平成30年度入学式

平成30年度北海道静内高等学校入学式が4月9日(月)に行われました。入学許可宣言では、担任の先生の呼名に緊張した面持ちながら元気に返事をし、起立する新入生の姿から、高校生としての自覚が感じられました。校長先生の式辞や新ひだか町長、PTA会長の祝辞においては、背筋を伸ばして真剣に耳を傾け、息を合わせた礼をするなど年次の生徒が一体となって式に臨みました。また、田村 龍之介 君の入学者宣誓や、中村 太亮 君の交通安全宣言では、その立ち振る舞いからも静高生としてのプライドが感じられました。新たな環境における期待と不安はあったかと思いますが、整然と儀式に臨む165名の新入生は静内高校の歴史に新たな1ページを刻んでくれる有望な人材であると期待を感じさせてくれました。

着任者の紹介

職名	氏名	教科
校長	加澤 雅裕	
事務長	上井 弘人	
教諭	矢野 永理	家庭
教諭	前田 晋吾	数学
教諭	葛西 高成	英語
教諭	内田 大資	地歴公民
教諭	近江 真奈	実習助手
事務	上妻 美紗貴	



静内高等学校に入学して

1年4組 遠藤 愛佳

4月9日に入学して1週間が経ち、色々な人との交流も増えてきました。これから1年間このメンバーで、静高祭などの行事や普段の学校生活を送ることを楽しみにしています。ですが、まだ挨拶ができていなかったり忘れ物をしたりと、高校生活に慣れていない人がいるのも現状です。ですから、少しずつできることを増やし、早く高校に慣れていきたいと思います。

これからは静高生としての自覚を持ち、自分の言動に責任を持って生活していきたいです。



新入生歓迎会

4月13日(金)に「新入生歓迎会」が開催されました。新1年次生165名を歓迎する、今年度最初の生徒会行事でした。1年次生が1日でも早く学校のことを知り、行事や課外活動に充実した日々を送ってもらえるように、春休みから執行部が企画・リハーサルなどの準備を進めてきました。

オープニングを飾った吹奏楽部の演奏では、部員によるソロパートに会場が沸き、また、生徒会による行事説明や、本校独自の総合行事制度である「会長杯」の説明に1年次生は真剣に耳を傾けていました。生徒会企画では、突然のトラブルにも2、3年生からの温かい手拍子

により、会場の盛り上がりはピークに達しました。歓迎会のメインともいえる部局ステージ発表は、各部のオリジナリティのあふれる紹介に1年次生は圧倒されていました。終わりに1年次代表の湊真帆さん（1年5組）による素晴らしいお礼の言葉で締めくくられ、歓迎会は成功に終わりました。

この会をきっかけに、1年次生にはいち早く静内高校の一員として「静高プライド」を胸に刻んで活躍してくれることを期待しています。



ガイドンスブック しずこうシラバス

静内高校では多様な進路希望に対応するため、単位制を導入しています。単位制は科目選択の幅が広いことが特徴です。単位制の学校の生徒が特にしなければいけないことは、自分に関する理解を深め、自分の適性に応じてこれからの道を選ぶことです。科目選択をするためには自分が深めたい学びは何か、将来の進路に必要な学びは何かなどを考える必要があります。しかし、自分ひとりで考えることは難しいことなので、静高ではガイドンスを充実させています。

例えば、自分を見つめ将来を考え、科目を選択する時の道しるべとなるのが「ガイドンスブック」です。この中には科目選択に関する説明だけでなく、進路のことや学校生活のさまざまな決まりやしきみなどが書かれている、静高での生活のガイドブックです。

また、「しずこうシラバス」はこれからの学校生活を見通すために作られた予定表です。その中には、HR 活動や進路行事、模擬試験や検定試験など学校で行われている活動のほとんどが記載されています。これを見ることで、生徒はいつ、何を、その活動でどんな力を身につけなければいけないのかを知ることができます。ですから、「しずこうシラバス」にもこれからの学校生活のガイドンスの機能があるのです。この他にも静高はさまざまなガイドンスを行い、全力で生徒の成長をサポートしていきます。



夢の実現へ

教務部長 高橋 敬一

新入生の皆さん入学おめでとう！保護者の皆様おめでとうございます。

今年の冬は雪が多く、新ひだか町も甚大な雪害が起きました。本校もボランティア活動に参加しました。現場に行ってはじめて被害を受けられた方々の大変さを目の当たりにし、あらためて自然災害の恐ろしさを知るとともに、沢山の人がボランティアに参加し困っている人を助けようとする人の力を感じずにはいられません。それらのことは参加しなければ分かりません。経験により感じるのだと思います。生徒が何かを感じて今後の生活に生かしてほしいのは勿論ですが、被害に遭われた方々がまた普通の生活に戻ることが一番の願いです。

話が逸れてしまいましたが、経験をすることということが何より大切な事です。やってみるといことです。それが人の為であればなお良いですね。学校生活はまず自分

の事です。自分のことをきちんとやる。勉強、部活動、学校生活と身の回りのことも含め行動を起こす。特に嫌なことに対してやってみる。人間は嫌なことを遠ざけたりする傾向にありますが、遠ざければ遠ざけるほど嫌なことが自分を襲ってきます。逃げないで立ち向かっていくといつの間にか苦手なことが、苦手ではなく、嫌いなものが嫌いではなくなることを経験したことはありませんか。人は皆興味があることや好きなものに対して行動をおこすことは苦になりません。しかし嫌なことであったり、大変なことをしないといけないことが沢山あります。そのことを楽しく取り組めることができれば良いですね。その一歩目が踏み出すということです。動き始めるときに一番力が必要です。動き始めればどんどん動いていきます、まさに物理の法則です。踏み出して下さい。踏み出せば嫌なことが嫌でなくなり、大変なことが大変だと感じなくなります。先生方も後ろからあと押しします。加速して自分の夢に向かっていって下さい。皆さんの未来は明るいです。明るい未来に向かって大きく踏み出して下さい。先生方は皆さんの夢を応援しています。頑張ってください！

<高体連・高文連・高野連支部大会の日程>

種目	期日	会場
野球（春季大会）	5/12~19	とましんスタジアム
陸上競技	5/23~25	室蘭市入江陸上競技場
バスケットボール	5/25~27	苫小牧市総合体育館 他市内高校体育館
バレーボール	5/18~20	室蘭市体育館 登別市総合体育館
卓球	5/16~18	伊達市総合体育館
ソフトテニス	5/22~25	室蘭市高砂テニスコート
バドミントン	5/22~24	苫小牧市総合体育館
ハンドボール	5/24~25	室蘭市体育館
サッカー	5/22~25	伊達市内各校グラウンド・ 室蘭入江競技場
剣道	未定	室蘭栄高等学校体育館
空手	5/26	登別青嶺高等学校体育館
放送	5/18	NHK 室蘭放送局
将棋（全道大会）	5/23~25	十勝川温泉
馬術	未定	未定
水泳	5/26~6/2	苫小牧日新温水プール

5月の行事予定

8日	火	交通安全・防犯教室
10日	木	高体連支部壮行会
14日	月	保護者向け進学説明会
15日	火	生徒総会
20日	日	PTA 町混合バレーボール大会
29日	火	考査1週間前

学校だより「渺々万里」は
静内高校ホームページからも
ご覧いただけます

<http://www.shizunai.hokkaido-c.ed.jp>

